



**ボランティアセンター**

- ・相談、活動内容の調整
- ・情報の提供
- ・ボランティア登録の受付
- ・ボランティア保険の受付

**あなたにぴったりの活動がきっとあります! あなたの趣味や特技、想いをボランティアに活かしてみませんか? お気軽にご相談ください。**

—————【活動の前にボランティア保険に加入しましょう!】—————

ボランティア活動をする方自身のケガや、他人の身体や財物に損害を与えてしまった場合の補償など、ボランティア活動中の万が一の事故に備えるボランティア活動保険の加入受付をしています。安心して活動するためにも加入をお勧めしています。(Aプラン 300円)(Bプラン 500円)(Cプラン 600円)





## ボランティア交流会「ボラトーク」

に参加しました

3月30日（金）、福祉センターさやま荘で開催されたボランティア交流会「ボラトーク」に参加してきました。

今回の交流会は、大阪狭山市でボランティア活動する人やボランティアに興味のある人が集まって、気軽におしゃべりや情報交換をし、ボランティアの横のつながりを拡げることを目的としたものでした。

トークテーマの書かれたサイコロを振り、出た内容に沿って4～5人のグループでお喋りを開始すると、最初は遠慮気味に話をされていた人も、徐々に盛り上がり、会場は和やかな雰囲気となりました。今回のトークテーマは下記の4つでした。

- ①「ボランティアを始めたきっかけ」
- ②「ボランティア活動をやっていて良かったこと」
- ③「甘ずっぱい思い出」
- ④「私のストレス解消方法」

また、テーマが変わる度に席替えを行っており、毎回新鮮な気分でおしゃべりをして、たくさんの人たちと交流することができました。

他の参加者からは「他のグループの活躍を伺えて良かった」、「いろいろな活動の情報や、体験を分かち合う機会になった」、「様々なテーマでお話が出来て、よりつながりを深めることが出来た」等の感想があり有意義な交流会となりました。

ボランティア同士の横のつながりや、互いの良いところを活かした協働の活動が活発になっていくよう、今後も交流会の定期的な開催を望みます。

〈取材：楠田〉



## ボランティアグループの紹介

ボランティアセンターに登録しているグループを紹介します！

### 笑楽鼓（しょうがくこ）

私たち「笑楽鼓」は、和太鼓演奏活動を通して会員相互の親睦や心身のリフレッシュ、地域社会の発展に寄与することを目的に活動を始めました。

「笑って楽しく太鼓を演奏する」ことをモットーにし、「笑楽鼓」というグループ名をつけました。

さやま荘クラブとして活動しているので、所属会員は大阪狭山市在住の60歳以上で構成され、練習に励んでいます。

毎月第1・3土曜日の午後からさやま荘で練習し、「はばたきフェスタ」や「さやま荘クラブ演芸大会」等で演奏活動を行っています。今後は、福祉施設や地域の催しにも積極的に協力したいと考え、ボランティアセンターに登録いたしました。

和太鼓の響きのように、私たちの演奏が多くの人の心を振るわせて笑顔にすることができたらと思います。是非、お声掛けください！



「ボランティアに来てほしい」「ボランティアをしたい」「もっと詳しく知りたい」など、ボランティアに関することは、お気軽に大阪狭山市ボランティアセンターにお問い合わせください。



## 春のボランティアジュニアスクール

3月17日(土)、福祉センターさやま荘で午前10時から午後3時30分まで、「春のボランティアジュニアスクール」が開催されました。

テーマは「スクープ! ボランティア新聞記者になろう」。参加した子ども達はボランティア活動についての取材と、活動体験をして、大阪狭山市のボランティア活動を紹介します壁新聞を作成しました。(参加した子ども27人)

午前中、子ども達は5つの班に分かれて行動し、ジュニアスクール新聞社の名刺を持って腕章を身に付け、子ども新聞記者となり、取材先の5つのグループ(①手話サークルさやま、②メンズボランティア狭山、③つくしの会、④傾聴さやま、⑤自助具の工房さやま)のボランティアさんの取材をしていました。楽しみながらも取材中は、一生懸命にメモを取ったり質問をしたりと、真剣な様子でした。

また午後からは、ジュニアスクール新聞社の編集長役の西上さん(ボランティアグループ連絡会サポーター)

に指導してもらい、午前中に取材したグループの活動の様子やボランティアの意義や想いをまとめた記事作りに取り組みました。今回はボランティアグループだけでなく、身体障害者福祉協会のサロン「サロンさやま」のみなさんにもご協力をいただき、インタビューを通して交流をしていました。

子ども達からは「今度は手話であいさつしてみたい」、「思いやりの気持ちが大切だと思った」、「新しい友達ができて良かった」という感想があり、それぞれ大切な学びを得たようでした。

〈取材：川島〉



## 災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました

3月21日(水・祝)に災害ボランティアセンター設置運営訓練を行ないました。

午前中は、福祉センターさやま荘大広間で、鳥取県日野ボランティア・ネットワークの山下 弘彦氏から、「災害ボランティアセンターの役割と運営の流れ」を講演していただき、午後からは、高知県沖を震源とする震度6弱の地震による被害想定にもとづき、さやま荘を災害ボランティアセンターとし、府営住宅北自治会集会所を被災現場に想定した設置運営訓練を行ないました。

訓練では、実際に府営住宅北自治会集会所に移動し、被災状況やボランティア活動への要望に対応するロールプレイ演習を行ない、さやま荘に戻って活動状況や活動先の家庭の様子等を報告しました。

かなり実際の活動に即した訓練を行なったことにより災害ボランティアの活動が実感できた一日でした。

大阪狭山市災害ボランティアネット  
委員長 植山 英一



## 「お料理ボランティア養成講座」が開催されました

3月19日(月)、22日(木)の2日間、お料理ボランティア養成講座が開催されました。

一人暮らし高齢者の会食会や子ども食堂の必要性、また、家事支援の要望の増加などを考えると、調理ボランティアの役割はますます大切になってきます。

第1回目は調理ボランティアについての話を聞いた後、講師の井上美代子氏から絶品おやつ作りを学び、アーモンドチュールとチーズスコーンを作りました。オープンから甘い匂いが漂い、あっという間に美味しいおやつが出来上がり、参加者は「朝ごはんにもなりそう!」と喜んでおられました。

第2回目はつくしの会のメンバーが講師となり、デコレーション寿司、白和え、茶碗蒸し、いちご大福を作りました。各班、協力して手際よく作り、盛り付けにも工夫があり、まるでケーキのような綺麗なお寿司が出来上がっていました。

作った料理をみんなで囲み、食事をしながらボランティア体験や活動についての情報などを分かち合い、和やかな雰囲気の中で交流し、心もお腹もいっぱいになりました。

調理ボランティアは、食べる人のことをよく考えながら調理することはもちろん、会食時の楽しい雰囲気作りも大切な役割です。

参加者の皆さんには、調理を楽しんでいただきながら、それが周りの人たちの笑顔や喜びも作るものだと思えていただけたと思います。

「食」には人を幸せにするパワーがあります。養成講座を通して、人と人を結び付け、喜びを運ぶ活動をして下さる仲間が少しでも増えていけばと願っています。

つくしの会 松島 直子





### ほのほのメモ

自分の生き方に迷いや疑問を感じたとき、人生のアドバイスが欲しいとき、わたしたちに希望や勇気などをもたらす人生についての日本や世界のことわざをご紹介します。

最善のものを希望せよ。しかし最悪のものに備えよ。

西 洋

柔軟性を持っている者は、いくら年をとっても若い者だ。

ユダヤ

神は荷物を負うように、人の背中をつくる。

イギリス

忍耐は運命を左右する。

ラテン

幸せは去ったあとに光を放つ。

イギリス

機会が人を見捨てるよりも、人が機会を見捨てるほうが多い。

フランス

不幸な人は希望をもて。幸福な人は用心せよ。

ラテン

井戸に唾を吐くものはいつかその水を飲まなくてはならない。

ユダヤ

人が踊るときは一緒に踊れ。

ドイツ

何を一番愛していたかは失ったときに分かる。

西 洋

苦さを知らぬものは甘さを知らぬ。

ドイツ

樹木にとって最も大切なものは何かと問うたら、それは果実だと誰かが答えるだろう。しかし実際には種なのだ。

ニーチェ

自分自身を信じてみるだけでいい。きっと、生きる道が見えてくる。

ゲーテ

あなたが出会う最悪の敵は、いつもあなた自身であるだろう。

ニーチェ

人生は芝居のごとし、上手な役者が乞食になることもあれば、大根役者が殿様になることもある。とかく、あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし。

福沢諭吉

## 手話奉仕員 レベルアップ講座



手話奉仕員養成講座を修了された方を対象に、さらなる知識、技術の向上を図り、大阪府が実施する手話通訳者養成講座へのステップとするために、手話奉仕員レベルアップ講座を実施します。ぜひご参加ください。

- 【日 時】平成30年7月4日～9月19日いずれも水曜日の午後7時～9時(全10回)  
※8月1日・15日は休講
- 【会 場】市立公民館 講習室
- 【対 象】市内に居住・通勤・通学する手話奉仕員養成講座修了者  
※手話通訳士、大阪府手話通訳登録者、大阪府手話通訳者養成講座修了者は除く
- 【受講料】無料
- 【定 員】20人(先着順)
- 【申 込】はがきに「手話奉仕員レベルアップ講座受講希望」と郵便番号・住所・名前・年齢・電話番号・手話奉仕員養成講座修了年度を書いて大阪狭山市ボランティアセンターまで。ファクシミリも可能。6月22日(金)必着
- 【問合せ】大阪狭山市ボランティアセンター

### 編集後記

六月に入ると、雨の中、紫陽花の花がひととき美しく辺りを輝かせています。どの色も華やかで競うように咲いています。長い梅雨も私達の気持ちをほっと和ませてくれますね。

梅雨が明けるともう夏…。子ども達が楽しみにしている夏休みがやってきます。家族と旅行に行ったり、海やキャンプに楽しんでいることがいっぱい待っています。

私も振り返れば、夏祭りに浴衣を着せてもらって嬉しかったこと…。わたしたちを歩きながら食べたことなどを今でも覚えています。みなさんも今年の夏は楽しい計画をたくさん立てて思い出づくりをしてください。

〈鳥山〉